

甲斐市教育委員会第12回定例会議事録

- 1 日 時 平成29年3月28日(火) 午前9時
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午前9時
- 4 出席者 【教育長】 西山豊教育長
【委 員】 長田明美職務代理者 新海宏子委員
柳本博美委員 中込正久委員
【説明員】 生山勝教育部長 望月映樹教育総務課長
内藤和彦学校教育課長 保坂江里生涯学習文化課長
梅原剛スポーツ振興課長 剣持豊彦図書館長
坂本公彦学校教育指導監
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 久保欽一教育総務係長 河野晴美教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成28年度 第11回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 平成29年度甲斐市学校教育指導方針(案)について
第2号 平成29年度甲斐市生涯学習推進計画(案)について
第3号 平成29年度甲斐市スポーツ推進計画(案)について
第4号 平成29年度甲斐市図書館事業推進計画(案)について
- 10 その他
 - (1) 学校評価事業自己評価書・学校関係者評価書について
 - (2) 平成28年度学校評議員に関する報告書について
 - (3) 平成29年3月定例市議会教育委員会関係一般質問について
 - (4) 教職員離任式及び着任式について
 - (5) 市職員の人事異動内示について
 - (6) 市立中学校卒業生の進路結果について
 - (7) 平成28年度要保護・準要保護、児童生徒認定申請書等一覧表について
 - (8) 甲斐っ子の宝プロジェクトについて
 - (9) 甲斐市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正(案)について
 - (10) 甲斐市立図書館「危機・安全管理マニュアル」(案)について
 - (11) 4月の行事予定について

11 閉 会 午前 11 時 10 分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

教育長 おはようございます。

本日の朝日新聞の記事に発達障害担当の教員を安定配置、教育関連法案を改正という記事が出ていました。発達障害の児童生徒や、外国人や見守り指導が必要な児童生徒を担当する教員を安定的に配置することを柱とする、義務教育標準法や学校教育法など関連する 5 つの改正法が 27 日に参院本会議で可決成立し、人的配置が乏しかったですけど法案化されてどれくらい来るかという問題もありますが、特別支援教育が少しでも余裕が出来るようになればと感じました。

私が去年、この会議に出席して 1 年がたち早いなと感じているところですが、教育委員会として、「まちづくりは人づくり、生涯にわたる学びのまち」を目標に教育の推進を目指して、各課が、学校教育の充実、生涯学習文化活動の推進、スポーツの振興、図書館活動の推進といろいろな活動を展開させ成果や課題を明らかにし 1 年間取り組んできました。

本日の教育委員会の議題でも 29 年度の活動推進計画があげられています。いろいろと検討していただきたいと思います。より充実した教育活動を実践しようとする課もがんばっています。横の連携を取りながらみんなで頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

教育委員さんの活動を振り返ってみますと、入学式、卒業式、学校訪問、スポーツ行事や文化行事への参加、小中学校の公開研究会や教育委員の研修会への参加、定例教育委員会や総合教育会議での話し合いなどいろいろありましたが、学校に関わる活動が一番多かったような気がします。教育的課題などに対して、甲斐市の教育をどう進めていけばいいか方策をみんなで考え、これからも積極的に取り組んで行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

○教育長報告

教育長

先週 24 日の定例部長会議におきまして、市職員の定期異動の内

示がありました。全体では201人で、前年度より41人減の異動規模ということでもあります。内容については部長から説明がありますのでお手元の冊子を後ほどご覧いただきたいと思います。

それでは、3月の諸報告をさせていただきます。1ページをご参照ください。本日は、案件が多いうえに、このあと、教職員の離任式が控えておりますので、よろしくお願いします。

まず3月1日には、県立高校の卒業式が行われました。私は甲府昭和高校の第31回となる卒業証書授与式へ出席いたしました。厳かな式の雰囲気の中で273名の生徒に卒業証書が渡されました。女子生徒は早いうちからハンカチで目を覆っていましたが、式の終盤には男子生徒も感極まって大きな声を出し泣いていた姿はとても印象的でした。

午後2時30分から、甲斐市版ネウボラ事業推進協議会による講演会が行われました。講師は、山梨県産婦人科医会長、竜王レディースクリニック院長で甲斐市版ネウボラ協議会長である森沢孝行医師で、「子どもたちへの性教育について」～医療現場からみえてくるもの～がテーマでした。教育現場から、養護教諭や管理職の先生方も多数参加され、充実した研修会となりました。

3月2日には、定例議会が開会されました。3月2日から6日にかけては、一般質問が行われました。教育委員会に関係します質問とそれに対する答弁につきましては、この後、部長からご報告いたします。また、14日から21日にかけては、予算特別委員会が設置され、長い時間をかけて新年度の予算審議が行われました。

3月5日には、敷島公民館まつりに参加しました。多種目に渡った展示発表や舞台発表、体験コーナーや模擬店、遊びのコーナーなど幅広い活動に驚きました。

それから、8日と9日には、中北教育事務所で管理主事と教職員の年度末人事についての最終協議が行われ、10日に内申書の提示をいたしました。

12日には、支部対抗グラウンドゴルフ大会が敷島総合公園で開催されました。体育協会主催の大会では一番参加が多い事業とのことで、市内各支部から47チーム、約400人近くの参加が有りまして、8ホールが4セット用意された芝のグラウンドの上で選手が一同にプレーする姿は、大変壮大でありました。

13 日には中学校の卒業式、22 日には小学校の卒業式が行われましたが、それぞれご出席いただきありがとうございました。お疲れ様でした。

15 日には、交通安全協会の関係者が教育委員会を訪れ、恒例となりました「交通安全の黄色い傘」をご寄贈いただきました。

相変わらず市内でも交通事故は多発していきまして、子どもが巻き込まれる痛ましい事故も発生しています。寄贈いただいた「黄色い交通安全傘」は、傘の一部に反射素材が使用されていて、雨の日の通学の安全を高めるために、極めて有効なツールであります。今年も新入生児童が全員携帯できるようにと730本をプレゼントして頂きました。早速、この春の新入学児童へということで各小学校に配布いたしました。

16 日は県立わかば支援学校の小学部と中学部の卒業式へ出席して参りました。卒業生は小学部8人、中学部19人で、甲斐市からは小学部3人、中学部3人が卒業いたしました。市内の小中学校の卒業式とは違っていて、人数は少ないですが、卒業生・在校生・教職員・保護者の皆さん、みんなが楽しく参加していて、ほのぼのとした感動を伴うひと時でありました。

午後7時から、甲斐市版ネウボラ事業推進協議会が行われました。今年度第2回目の会議で、事業実施状況、来年度の事業計画などについて協議されました。

17 日には山梨ことぶき勸学院卒業式に参加しました。高齢者教育の場である山梨ことぶき勸学院の県下6学級189名が、2年間の学習過程を修了されて巣立っていきました。36名の皆勤者の頑張りにも驚きました。

23 日には、市議会定例会の本会議が再開されまして、上程された条例改正や補正予算、新年度当初予算など一般議案全てが可決されました。

また、最終日のこの日には、副市長などの人事案件が追加提案されまして、副市長には、現総務部長の飯室崇氏が同意されました。

24 日には、9時30分からの定例部長会議の最後に平成29年度甲斐市職員定期人事異動の内示が行われました。また、11時50分からは、教職員の人事異動辞令交付式が甲斐市図書館で行われました。

午後4時30分からは、1月に行われたミニバスケットボールの山梨県予選大会での女子の部で、みごと優勝し、28日から東京・代々木体育館を会場に行われる全国大会に出場する、敷島南ミニバスチームへ補助

金を交付しまして、甲斐市の名前を全国へ高めてもらえるよう激励いたしました。

本日 28 日には、定例教育委員会、このあと教職員離任式が行われます。

29 日には「甲府地区広域行政事務組合」の 3 月議会が招集されまして、議事案件は、一般会計及び特別会計の補正予算や新年度予算、条例の制定や一部改正などの一般議案が提案される予定です。

31 日には教育委員会職員辞令交付式、市職員退職者辞令交付式が行われます。

以上、私からの報告とさせていただきます。

○議 題

第 1 号 平成 29 年度甲斐市学校教育指導方針（案）について

事務局

（資料説明）

委 員

今後のお願いです。学校教育ではありますが教育委員会だけで取り組む縦の連携だけではなく、他の部局との連携が必要と思います。また、連携をすることにより効果が発揮できるよう、食育とか安全マップを作る時にどの部局と連携するのか、そういうことが見えてくるとよくわかるかと思えます。教育委員会の基本的なものはわかるのですが他の部局と横の連携をどうとっているのかわかればありがたいので、もし可能ならばこの中に含めていただければと思います。

教育長

それは可能でしょうか。

事務局

学校教育が縦になり、連携ということであれば可能かと思えます。

委 員

連携ということでしたいただければと思います。例えば自立支援との連携とか横のつながりが見えてくると非常にわかりやすいと思います。

事務局

学校教育の指導方針なので、どの程度のものが入れられるかですが、連携しているところは確かにあるので検討したいと思えます。

教育長

施策としてするのか、連携して目標としてやっていくのか、教育委員会の 4 つの課はもちろん連携していくと思えます。

事務局

一番大きな課題は子どもの貧困対策ですが、これについては新年度から動き出します。甲斐市では子育て支援課が中心となって行う予定です。中央市では教育委員会がアンケート調査を実施します。子どもの貧困対策をどこの部署が担当するかは非常に見えにくい部分がありまして、義務教育段階では教育委員会部局ですが、義務教育前また高等学校になる

と外れる部分があります。甲斐市では小さい世代ということで子育て支援課が中心となってアンケートとか計画づくりをしていきます。その中で義務教育段階ということで教育委員会が入っていくことになります。

新年度には、アンケート調査を行う予定となっておりますが、大きな問題ですので教育委員会も連携し取り組んでいきたいと思っています。

委員

貧困対策、不登校の問題、大人になってひきこもりの問題、その子どもたちに継続して対応しているのか、途切れてしまって継続的な追跡が出来ないというのが現状ではないかと思います。つなげていかないと成果に結びつかないし、実態も把握できません。不登校の子どもとひきこもりの子どもとの関係がどうなっているのか、長い視野で見ていかないと改善に結びつかないので今後も研究、検討をして実績が見えるように努めていっていただきたいと思っています。

教育長

あまりわかるようにすると、差別・区別になってしまうのでその辺りの施策も大切です。市長部局とか部署により取り組みが違いますが、その中で精査したり協力したりしていくということだと思います。

委員

学校教育指導重点目標の項目ですが、「生きる力」というのは「豊かな心」とか「学力」とか「健やかな体」とか全体を通してつくるもので、それが一番上の指導重点目標にあってそれを地域がサポートするという項目建てにならないといけないと思うのですが、その辺りの整合性はどうなっているのですか。指導重点の1番の問題は「生きる力をはぐくむ」ということで、それをサポートするのが地域を巻き込んだ教育活動という項目建ての方が筋が通るような気がします。

教育長

これについては何かと関連しているのですか。

事務局

おそらく、県の指導重点とかみ合うように当初作られたと思います。確かに「生きる力」が主目標でそれに対して3番、4番、5番が具体目標となるのがいいかと思うのですが、県の大綱との兼ね合いがあるのかと思います。

教育長

その他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

なければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同

異議なし。

第2号 平成29年度甲斐市生涯学習推進計画（案）について

事務局

（資料説明）

委員

先日、甲斐市小中学校の音楽祭をしております敷島中学の吹奏楽の顧問の先生の集まりに参加しました。先生方が音楽祭の開催について本当に感謝していました。今後はお膳立てをしていただいで参加するだけの会ではなく、自分たちで企画運営をしたり小中連携も絡めて、ただ学校が単独で発表するのではなくて他の学校とジョイントして合唱と吹奏楽が一緒に発表したりと、積極的に取り組みたいと熱い思いを皆さん語っていました。ただ自主的にしたいといっても、やはり行政との連携は欠かせないものなので、今後もよろしくお願ひしたいという話がありましたのでここで報告させていただきます。

教育長

その他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
なければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同

異議なし。

第3号 平成29年度甲斐市スポーツ推進計画（案）について

事務局

（資料説明）

委員

夏休みに行われる子どもクラブのスポーツ大会ですけど、年々参加団体の数が減っていて、合併して出場しているところもあるのですが、今後のことはどんなふうに考えていますか。

事務局

子どもクラブの球技大会は生涯学習文化課が担当になります。

年々減ってしまして、双葉地区については特に参加が少ないということで、今年度もどうするかということだったのですが、役員さんの話し合いの中で、参加チームが少なくても球技大会はするということになりました。

委員

県につながるのですよね。

事務局

県につながるのですが、市の大会の参加が少ないということで、市の大会はしないで、順番に出ていただくようになっています。その代わりに2月にドッジボール大会を開催しております。

委員

その大会は市単独で、どこかにつながるということではないのですね。

事務局

はい。球技大会の代わりに開催しています。

委員

多くの団体が参加するのですか。

事務局

球技大会よりは多く参加しています。

事務局

ソフトボールの県大会も7チームくらいの参加のようです。

委員

子どもクラブという組織自体も不明確だし理解されていないし、育成

会と子どもクラブとの関係はどうか、育成会は高校生も含まれているが、子どもクラブが中学生まで、市でしているリーダー講習会は高校生も含めた青少年育成をしているということで、とても複雑化していて、組織がうまく機能できない状態という感じがします。また、部活だけでなく、家庭の行事で参加できないということもあります。地域にもリーダーがいなくてまとめられないということもあります。

学校教育でもベースボール的なものがなくなってしまったが、ソフトボール協会などでもそういう機会を増やそうとTボールという球技を考えたりと試行錯誤をしているようです。

委員 地域の子どもたちをまとめるのに何が一番いいのかと考えるといけないし、またそれを県につなげるということになると大変です。学校体育にあるものですか、考えるといけないですね。県にまで行かなくても先ほどのドッジボールのような大会を市の中で、時期とかも考えながらやっていかないと出てくる子どもがいなくなってしまうよね。

教育長 もう20年くらい悩んでいますよね。大人が一生懸命頑張っている地域があったり、少子化でどうにもならない地域があったり、課題ですね。

委員 カヌー教室というのはどこですか。

事務局 身延のクラフトパークの専用のプールで行っています。

教育長 その他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

なければ原案のとおり承認してよろしいですか。

一同 異議なし。

第4号 平成29年度甲斐市図書館事業推進計画（案）について

事務局 （資料説明）

委員 一人暮らしの高齢者で、本を読むことを楽しみにしているけど、年とともに足腰が大変になって図書館に行くことが難しい方が増えているような気がします。そういう方に対して、個々の家を訪問するということとはなかなか難しいと思うのですが、何かサービスがこれから出来るといいなと、ご近所の方などを見て感じました。

事務局 甲斐市に3つの図書館がありますが、近い家はいいのですが、高齢で遠い家の方は足が遠のいてしまうということがあります。甲斐市より高齢が進んでいる自治体では、地区の公民館を図書配送の拠点として、そこに取りに行ってもらおうという取り組みをしているところもあります。

甲斐市でも検討をしたのですが、人力的にも財政的にも難しいということで、今後の課題としていきます。

委員 私も民生委員をしていた時に、そういう高齢者の方がいらっしゃったので、可能な範囲で代行をしました。民生委員は地域の一人暮らしの高齢者を把握しているので協力をいただければと思いますし、中学生や高校生も図書館を利用する機会が多いので、そういう志のある子どもがいれば人力を使うというのもいいのかなと思います。

委員 自治会で広報を配布するときを利用してもいいですね。

事務局 ただ、どの本を借りたというようなデータは図書館では他人には見せないということで、またその記録を残しておかないので本人にも知らせないということで、難しい問題があります。

封筒に入れるというようなことをすればいいのでしょうか、受け渡す時のプライバシーの問題があります。

委員 今後は、IT関係のタブレットなどの利用で防災関係の情報を読める、伝えられる、健康状態も確認できるなどという時代になるのかなと思います。本も、図書館に借りに行かなくても家にいて読めるようになります。そうすると、人とのコミュニケーションがとれなくなってしまいますよね。これも問題になってしまうと思います。

事務局 図書館の本というのは、字体が限られていまして、大型活字本というのは一回り字が大きくなっています。ただ普通の字体に慣れていて大きな字で読むと内容が頭に入らないということがあります。ただ、拡大鏡で見ないとならない様になるとそういう本も限界になってきてしまいます。タブレットとなると、字体については自由になるというメリットはあります。

委員 今、ある程度健常的な人を考えていますが、それ以外の人利用方法についてもどうしていくのか考えていかないといけないと思います。

委員 今は、活字離れが進んでいます。若者も離れていっていますが、年よりも目が悪くなってくると文庫本など読みにくくなります。何とかして読もうと思う人はいいですが、そうでない人を掘り起こすというのは難しいですね。

事務局 図書館の利用は、65歳以上の人が増えてきています。1番多いのは40歳台ですが、次が65歳以上の人です。人数は増えてきています。

事務局 資料の中に図書館ボランティアが掲載されています。敷島図書館のボ

市ではどのように対応しているのかということと、除去室を設置してその中で作るべきだという意見ですけど、答弁の内容としましては今の施設の中で除去室を作るとなると全部改修しなければならない。また、除去食を作る人はそれが専門になりますから、人数も多くなるということで現状では厳しい状況であるということです。また、献立表を配っていますので父兄にも確認していただき、食べられないものを判断し学校とも情報を共有する中で対応しているということを答弁してあります。

委員

その除去食と共に、障がいを持った子どもに対し、その障がいに合った食器類を用意しているのですか

事務局

それは家庭の方で用意しています。

委員

学校では準備しなくて父兄が自前で用意するということですね。いろいろ子どもたちがおり、すべての子どもたちに安定的に給食を与えていくための準備は非常に気を配らなければならないですよ。父兄が用意するということなので大丈夫かと思いますが、市が用意するとなると安全管理面でいろいろなことが出てきますね。

このことも含めていろいろなことへの対応のために学校が多忙化することも問題だと思います。総合的に考えていかないと解決できないですね。

例えば、お弁当を持参すれば、給食費はとらないということになりますか。

事務局

給食が食べられないということでお弁当を持参すればとらないということになりますね。

委員

それも手間がかかることですね。

委員

それも教員の多忙化の一つの大きな要素となります。

要求されればいろいろな学校職員の負担になりますよね。

給食費となると市の担当まで負担がかかってきます。

委員

命にかかわることですからね。

事務局

給食費について、光熱水費も加算していいのですが、甲斐市は原材料費分だけを頂いています。あとの人件費、維持修繕費などは市の単独負担となっています。こういう取り組みをしているのですが、先進自治体もあります。2子、3子がいる場合は若干の軽減をしているところも県内にあります。

委員

教育行政ということではなく、市全体の施策の中の人口を増やすため

の目玉にするとかということでないで大変ですね。

事務局

定住を図るといってもありますし、少子化の中でどこに住むかという時に、あの町にはいい制度があるとか選択権があります。

教育長

今年、全介護の子どもが小学校に入学しますがその対応とか、多忙化とか、除去食の問題とか行政の限界を考えた時にどこまでできるのか、また平等、公平ということを考えても非常に難しい問題だと思います。学校の多忙化については取り組みが始まったことは大きな前進です。

事務局

多忙化の中で、未納の給食費の対応については市町村によってはすべて学校現場に任せてしまっているところもあります。甲斐市は先生の多忙化も考え、未納の問題については滞納整理等、市の職員が行っています。

委員

小中の連携について、議員の皆さんは関心を持って理解してくれているのでしょうか。啓発ではないですけどレクチャーをして理解を深めていただければと思います。

事務局

小中の連携については甲斐市の中でもしているのですが、議員の皆さんにもなかなか伝わらない部分もあります。情報を発信する中で、常任委員会でも28年度の実績を示していきます。

小中連携の中で議員の皆さんによく言われるのは 学区の問題です。

双葉東小と双葉西小の問題ですが、双葉東小は市内で1番のマンモス校で双葉西小と比べると人数の格差があります。双葉東小については、大規模開発で住宅が増えていますが、双葉西小はなかなか増えません。敷島北小は1番少ない児童数ですが、敷島小とのバランスもあります。

こういうことも含めて教育委員会ではどのように考えるかという質問も頂いています。

また、1つの自治会の中で竜王小と竜王北小に分かれてしまって、非常に自治会活動がやりにくいということがあり、これについてもどう考えるかという質問も出ています。

学区の問題、通学区域の変更についてはこれからの課題です。

かつての敷島小学校と敷島南小学校の問題が非常に重い反省材料となっています。

教育長

1年間、議会の対応をしましたが、関連質問というのがありまして、その中でどういう教師が望ましいかという質問がありました。最後に小中の連携が重要だと答弁しました。進めていくべき問題だと思います。

その他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(4) 教職員離任式及び着任式について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(5) 市職員の人事異動内示について

事務局

(資料説明)

教育長

ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(6) 市立中学校卒業生の進路結果について

事務局

(資料説明)

教育長

今年の高校入試の倍率はどうでしたか。

事務局

公立高校の倍率については、ほぼ前年と同じです。

教育長

今は、各学校の特徴を活かして募集していますが、そういうことで差がついていますか。それとも平準化していますか。

事務局

倍率についてはクラス数の減った甲府昭和高校が高くなっています。学校の特徴ですと、甲府一高が英語科から探究科にかわり人気があります。

教育長

その他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(7) 平成 28 年度要保護・準要保護、児童生徒認定申請書等一覧表について

事務局

(資料説明)

教育長

甲斐市の小中学生は約 6,000 人でしたね。これに対して 594 人ですので、10 人に 1 人が認定されているということですね。

事務局

多い学校では 18% くらい少ない学校では 9% くらいです。

教育長

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同

異議なし。

(8) 甲斐っ子の宝プロジェクトについて

事務局
教育長
一 同

(資料説明)
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(9) 甲斐市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正（案）について

事務局
事務局

(資料説明)
改正をすることにより市の負担がどれくらい増えるかなのですが、国からの補助金があり、平成28年度までは現状70%でしておりますが、70%の事業費に対して概ね3分の1の補助金がつきます。差引した金額は市の一般財源で支出しています。今回100%にすることによって事業費が増え、補助金も増えます。が、差引金額が一般財源となりまして、28年度の決算ベースですと約1,700万円程度、29年度になりますと2,500万円になります。約800万円の増加となります。各幼稚園の関係者から、是非100%にしてほしいと毎年要望がありまして、子育てしやすい環境整備ということで4月から始めることとなりました。

教育長
事務局

私立幼稚園はいくつありますか。
市内では平成29年度は2園が申請の対象幼稚園となりますが、甲府市等含めて13園が対象となっています。認定こども園になっている園が増えているので、年々少なくなっています。

教育長
一 同

他にご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(10) 甲斐市立図書館「危機・安全管理マニュアル」(案)について

事務局
教育長
一 同

(資料説明)
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

(11) 4月の行事予定について

事務局
教育長
一 同

(資料説明)
ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
異議なし。

事務局

その他、何かありますか。

事務局

教育委員の皆さんにもご協力をいただきました人事異動ですけど、甲斐市でも校長が3名採用、教頭が4名昇任、主幹教諭が2名昇任いたしました。市内の学校では校長が8校交代、教頭が7校、校長・教頭の同時異動が3校という状況です。

また、来年度も学校訪問等で学校の状況をご理解いただく中でヒアリング等ご協力をよろしくお願いいたします。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間

午前11時10分